

## 常任委員会

市民の足を

どう守るのか議論

### 総務委員会

富岡 隆 委員長

所管事項の28年度公共交通関連事業について、道南バスに移譲してから初めて約500万円の赤字になったことが報告されました。また、利用者の減少や運転手の不足から40を超える便数の削減が行われていたことも明らかにするなど市民への影響が懸念される事態となっています。質疑では、バス事業者に対し、市民の足を守るという視点から手だてを取る必要性を指摘。市側としては、今後も協議会の中で利用者に大きな影響を与えないよう、協議していくことが述べられました。



道南バス

## 「苦小牧市交通安全実施計画（案）について」推進方針が示される

示される

### 厚生委員会

松尾 省勝 委員長

所管事項は、「ふくし大作戦!! 2016実績報告」などの5項目があり、特に「苦小牧市交通安全実施計画（案）について」では、計画における具体的な取り組みについて示され、当初目標を「交通事故死者数を3人以下とせず、ゼロを目標とすべし」との質問に、市としては、「数値目標をゼロと見直し取り組んでいく」との見解が示されました。そのほかに「沼ノ端地区の公衆浴場閉鎖対策」や「特定外来生物ヒアリ」の対応について質疑されました。



交通安全

## 「公設地方卸売市場のあり方についての取組経過」などを議論

### 文教経済委員会

宇多 春美 委員長

所管事項の「公益財団法人道央産業振興財団の事業について」では、28年度事業報告・29年度事業計画の説明があり、道央地域（苦小牧市、千歳市、恵庭市、安平町）のものづくり企業の技術力向上などを進めていく必要があると質しました。

「公設地方卸売市場のあり方についての取組経過」では、指定管理者制度の導入検討に対し、課題の整理と取組経過の説明を受け、今後策定する経営展望に向けて市場運営審議会の中で検討する市場の方向性、運営方針などについて質しました。



水産市場

## 市営住宅老朽化の安全対策が課題！

### 建設委員会

越川 慶一 委員長

日新町及び大成町の市営住宅において、外壁落下事故が相次ぎ、市側から市内の中・高層市営住宅の緊急点検を行い、危険と判断した建物には侵入防護柵や防護ネットの設置などの安全対策を実施したことや今後の対応について説明を受け議論しました。なお、市内には築40年以上経過の建物も多く、29年度中に市営住宅整備計画を策定する予定です。

また、下水道使用料徴収漏れについて、過去5年間の請求額約1,001万円が確定したことで、該当する一般家庭や事業所に対し、請求額の支払いに理解を求める戸別訪問を行い、5月末までに約151万円が支払われたことの説明を受け議論しました。



市営住宅